

ため池ハザードマップの見方・使い方

◆ハザードマップ作成の目的

ため池ハザードマップは、万が一の事態に備え、ため池が決壊した場合に**最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るための最悪の状況を想定し、浸水予測を行いました。**

住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的としています。

◆ハザードマップの作成条件

満水状態のため池の堤体が瞬時にすべて破壊（最も厳しい条件）され、貯水量の全量が下流域に流れ出す場合を想定しました。



◆そうなってからでは遅い。早めの避難を！

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を知り、**万が一の事態に備え、早めの判断、速やかな行動**につなげてください。

問い合わせ先

南相馬市農林水産部農林整備課
0244-24-5261

◆ハザードマップに載せる情報

① 場所ごとの浸水する深さ

場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。

② 到達時間

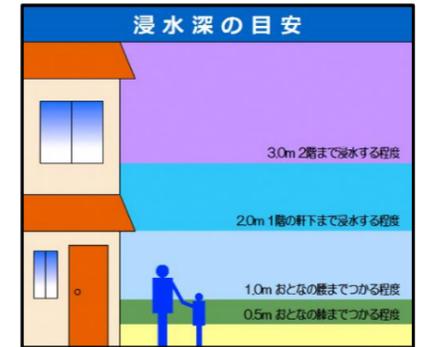
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。

③ 避難所・一時避難場所

避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、**近くの高台へ避難**してください。

④ いざというときの心構え

いざというときの避難に備えて、日ごろから心がけておく事柄を記載しました。



地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう（浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。）
- 災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図上にある災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所（地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ）や、**逃げ込める高台などをあらかじめ確認**しておきましょう。